

「ひびみつけ」は、国土交通省や橋梁調査会より性能評価を受け、2019年7月にNETIS^{※4}に登録(登録番号:KT190025VR)されました。また2020年6月には、国土交通省が作成する「点検支援技術 性能カタログ(案)」^{※5}にも掲載。同カタログ内の新技術の中でも、低コストであり、またドローンなどを用いた撮影との連携が可能であることから、非常に活用しやすく、点検業務のさらなる効率化への貢献が期待されています。

富士フィルムは、今後も「ひびみつけ」を進化させるとともに、これまでに培った独自技術を活かして画期的な製品を開発・提供し、社会課題の解決に貢献していきます。

- ※1 コンクリート内部の水分などうまく結合できず、単体で残った酸化カルシウムなどの成分。ひびわれにより、コンクリート表面に滲み出す。
- ※2 社会インフラ点検業界において。2020年7月21日現在。当社調べ。
- ※3 コンクリート中の鋼材の腐食による、茶色や褐色の生成物がコンクリート表面に滲み出したもの。
- ※4 民間により開発された新技術の活用促進のため、新技術に関わる情報の共有・提供を目的に国土交通省が運用しているデータベース。
- ※5 近接目視点検の支援技術の参考として国土交通省が取りまとめたもの。2019年2月に改訂された定期点検要領で、点検者が近接目視点検と同等の健全性の診断が可能と判断した場合に、近接目視点検の支援技術の活用が認められている。

記

1、機能拡張した「ひびみつけ」の特長:

(1)従来の「ひびわれ」に加え、「剥離・鉄筋露出」「漏水・遊離石灰」の自動検出が可能

- ・ 点検現場で撮影した、橋梁やトンネルなどのコンクリート表面画像をアップロードし、さらに AI を活用した画像解析により、幅 0.1 mm 以上のひびわれのみならず、剥離や剥離後に露出する鉄筋、ひびわれから発生する漏水・遊離石灰・錆汁を自動で検出することが可能。特に煩雑な点検業務を伴う損傷に幅広く対応し、社会インフラの点検業務を大幅に効率化します。
- ・ ユーザーの目的に応じて、「ひびわれ」のみの検出と、「ひびわれ」と「剥離・鉄筋露出」「漏水・遊離石灰」の検出を選択することが可能。補修設計や施工前点検などのシーンで有効にご活用いただけます。

(2)画像合成、損傷の検出結果のデータ集計・編集・出力など多彩な機能を搭載

- ・ アップロードされた複数画像の合成、検出結果(ひびわれ:ひびの幅・長さ、剥離/鉄筋露出/漏水/遊離石灰/錆汁:各損傷の面積)のデータ集計・編集・出力、CAD データの作成などが自動で可能。報告書作成までの作業を効率化するのみならず、描き直し漏れも防止します。
- ・ オフラインで合成画像を確認するチェッカー機能を搭載。点検現場での撮り漏れを防止します。また大量の画像から合成に必要な枚数のみを自動で間引きすることもできます。

(3)従量課金制の採用により初期投資が不要

- ・ 月々の利用量に応じた従量課金制のクラウドサービス。画像をサーバーにアップロードするためのソフトウェアを無料でダウンロードできるため、ソフトウェア購入などの初期投資は不要です。

2、新機能の提供開始日:2020年7月22日

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します

【報道関係】 富士フィルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL 03-6271-2000

【その他】 富士フィルム株式会社 産業機材事業部
TEL 03-6447-5179

「ひびみつけ」のホームページ <https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/inspection/infraservice/hibimikke>